

はしがみ 議会だより

No.17

5月号 (May)

暮らし人
地域を豊かに



わっせ春まつりでスプリングコンサート 階上中学校吹奏楽部の生徒のみなさん



三陸復興国立公園
みちのく潮風トレイル
日本ジオパーク認定

青森県階上町議会

02 3月定例会

一般会計予算
11・8%増 60億円超

06 ここが聞きたい

3議員が一般質問

10 初の議会報告会

町内4会場で実施

第3回 3月定例会

平成26年第3回定例会を3月7日開会し、3月14日閉会しました。
今回の議会では、条例制定1件、条例の一部改正7件、補正予算7件、新年度予算6件、その他2件、計23件が上程されました。審議の結果、いずれも全会一致で可決しました。一般質問は、3人の議員が行いました。



4項目の 重点施策

暮らし・人・
地域を豊かにする

施政方針

1 協働のまちづくりに よる生活環境の向上

- 各行政区防犯灯の電気料金全額補助とLED化促進による設置費の助成を増額
- 地域力向上のため、協働のまちづくり支援事業、地区計画推進交付金事業、私道等整備特別対策事業後の維持管理を継続

2 健康で豊かな暮らし

- 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活ができる健康寿命延伸のための協働の健康づくり補助金制度創設
- 八戸学院大学と連携し、会場産品を活用した健康レシピ作り
- 小学校就学前までの医療費全額助成と小・中学生の入院費自己負担を撤廃し、保護者の医療費負担を軽減

3 三陸復興国立公園指定を生かした交流人口の拡大

- 階上駅から道の駅「フォレストピア階上」わっせ交流センター間の町内巡回バス運行（第2・4日曜日）
- 階上駅に公衆トイレ新設
- 道の駅公衆トイレの改修
- 会場産品を活用したお土産品の開発
- 階上岳玄関口に位置するフォレストピア階上の改修

4 防災機能を高めて 安全安心な暮らし

- 大蛇地区津波避難路の整備と津波避難誘導灯・津波避難看板の設置
- 道仏コミュニティセンター（仮称）整備に伴う道仏体育館の解体
- 第4分団移転新築と消防車両の更新

一般会計予算 繰入金 67.9% 7億6019万円増
総予算 94億7266万円
特別会計予算 34億1266万円
一般会計予算 60億6000万円

▽26年度一般会計予算

予算総額は、60億6000万円

0万円で、前年比11・8%、6億4000万円の増。

歳入(収入)の主なもの

【町税】 地方税法の特例等による町民税の増額等で、前年比3・4%増の10億86万円。

【地方交付税】 前年比4・2%増の22億6128万円。

【繰入金】 前年比67・9%増の7億6019万円。

内訳は、財政調整基金から3億7868万円、減債基金から1400万円、東日本震災復興基金から2643万円、東日本震災復興交付金基金から1億6511万円、公共用地取得基金から1715万円、地域の元気臨時交付金基金から1億5882万円。

【町債】 前年比54・6%増の4億8350万円。

歳出(支出)の主なもの

【総務費】 庁舎駐車場整備3836万円、町PR事業費694万円、駅前公衆トイレ整備2805万円等。

【衛生費】 国民健康保険特別会計繰出金1億6302万円、インフルエンザ等予防接種3503万円、乳幼児等医療費給付費1890万円、住民検診2396万円、健康寿命延伸事業164万円、最終処分場用地取得1715万円等。

【農林水産業費】 農村活性化センター（フォレストピア階上）厨房等改修3871万円、八戸広域農道整備負担金1365万円、中山間地域総合整備事業2624万円、水産振興事業費補助金305万円、階上地区水産物供給基盤機能保全事業5680万円等。

【商工費】 ふるさとにぎわい広場（道の駅）トイレ改修2489万円、三陸復興国立公園維持管理1526万円、町の観光PR699万円等。

【土木費】 漁業集落排水事業特別会計繰出金3450万円、三陸復興国立公園内階上岳の草刈り700万円、道路維持工事5500万円、道路新設改良費9289万円、大蛇地区復興避難路整備事業2億円、被災者定着促進事業住宅再建補助1200万円等。

【消防費】 第4分団屯所移転新築4038万円、第4分団消防車両整備2232万円、沿岸地区津波避難看板等整備848万円等。

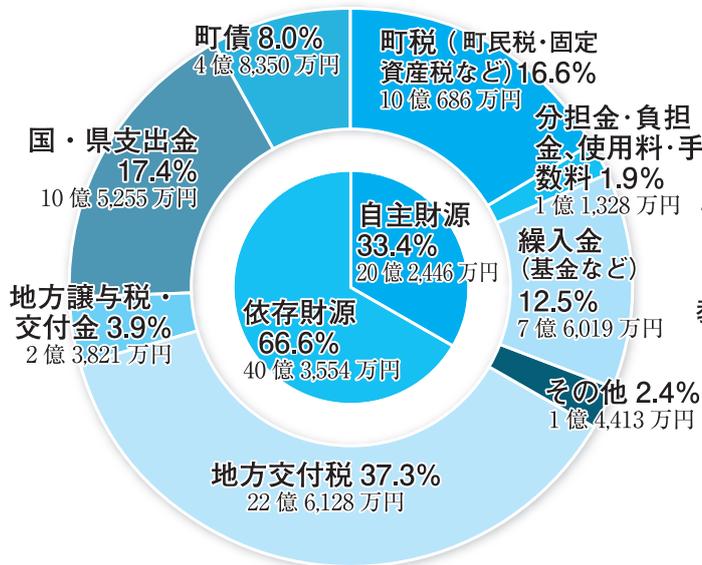
【教育費】 道仏コミュニティセンター（仮称）整備事業8375万円、石鉢小駐車場整備1465万円、奨学資金4200万円、語学指導外国青年招致事業891万円等。

11.8% 6億4千万円増の大型予算を可決

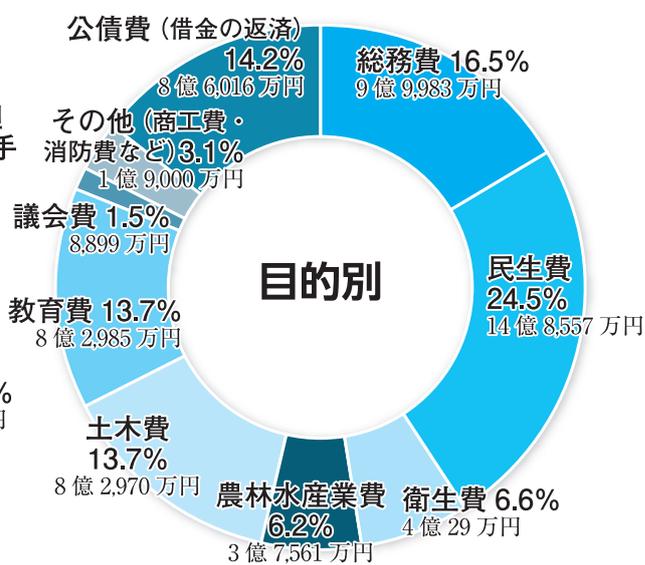
26年度一般会計予算 60億6千万円

一般会計予算

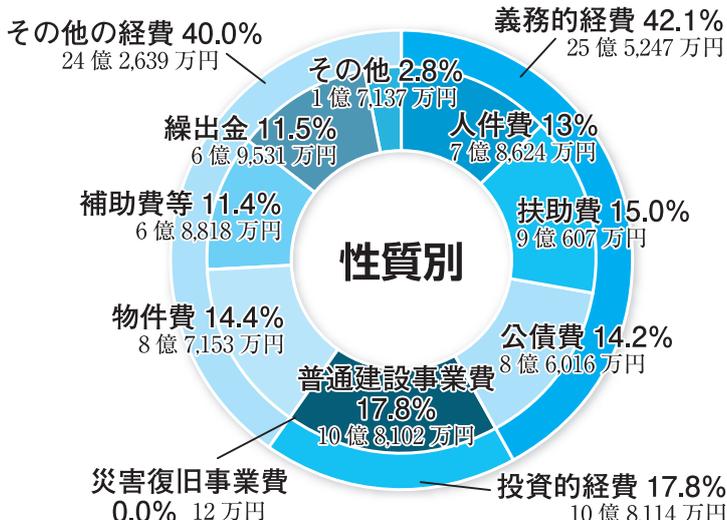
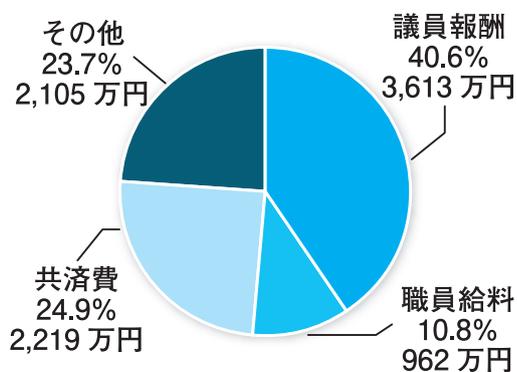
歳入(収入)



歳出(支出)



議会費8,899万円



◆平成26年度 一般会計特別会計予算額

会計名	26年度	25年度	差し引き増減額	増減率(%)	
一般会計	60億6,000万円	54億2,000万円	6億4,000万円	11.8	
特別会計	国民健康保険	17億6,263万円	18億398万円	△4,135万円	△2.3
	介護保険	11億9,652万円	10億2,353万円	1億7,298万円	16.9
	後期高齢者医療	1億773万円	9,398万円	1,375万円	14.6
	漁業集落排水事業	4,215万円	4,523万円	△308万円	△6.8
	公共下水道事業	3億364万円	2億5,158万円	5,206万円	20.7
	小計	34億1,266万円	32億1,830万円	1億9,436万円	6.0
合計	94億7,266万円	86億3,830万円	8億3,436万円	9.7	

金額はすべて表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

主な新年度事業（三陸復興国立公園関連）

当初予算の主要施策説明書は町のホームページでご覧になれます



階上駅 公衆トイレ新設 2,805万円



ふるさとにぎわい広場（道の駅） 公衆トイレ改修 2,489万円



無料

町PR事業 694万円

サンデー2・4巡回バスの運行等



わっせ交流センター



農村活性化センター（フォレストピア階上） 厨房等改修 3,871万円

小学校就学前乳幼児の医療費全額助成 小中学生の入院費全額助成

▽乳幼児等医療費給付条例の一部改正

8月診療分から小学校就学前の乳幼児は、医療費の全額が助成され、病院等窓口での支払いがなくなります。

小・中学生の入院費が、保護者の申請により、全額助成されます。

▽ひとり親家庭等医療費給付条例の一部改正

ひとり親家庭等の児童の医療費は、8月から病院等窓口での支払いがなくなります。

▽消防団員の定員、任免給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の報酬額が、三戸郡内の町村と同じく、県平均並みに改正になりました。

▽国民健康保険条例の一部改正

納税者が、納めやすいように、納期を6期から8期に変更しました。

▽東日本大震災に係る漁業用償却資産に対する固定資産税の特例に関する条例の制定

東日本大震災により滅失し、または損壊した漁業用償却資産の所有者等に使用させるため、新たに漁業用償却資産を取得した者の固定資産税を2分の1に軽減するものです。

▽敬老祝金支給条例の一部改正

毎年9月に支給されていましたが、百歳の方は、誕生日に支給されるようになりました。

▽定住自立圏形成協定の変更

八戸市と締結した定住自立圏形成協定のうち3事業が完了し、ドクターカー運行事業等の6事業の一部変更、3事業の内容再編など、連携する取り組みの見直しを行うものです。

▽町営住宅設置及び管理条例の一部改正

町営住宅榊山団地駐車場の使用資格の改正。

▽道路占用料等徴収条例の一部改正

道路法施行令の改正等による条文等の整理。

▽町道路線の認定及び変更

白樺団地1号線他9路線の認定と2路線の変更

一般
質問

こまが聞きたい

3月定例会では3人の議員が登壇し、町側の考えをただしました。要旨を掲載しています。



加藤 祐 議員

Q①

階上町都市計画用途地域が決定したのは、平成9年4月で、それまでの25年間は人口が増え続け、昭和47年には9736人だったものが、平成9年には1万4268人となり約4500人増加している。

その間、住宅地・団地・道路などが造られてきたが、調整池の防護柵の老朽化、防風林による枝折れ・葉っぱの散乱など、現在、その弊害が出てきている。

都市計画決定以前に開発された住宅地の土留の亀裂、傾き、公園遊具の老朽化や、暗くて目隠しとなる箇所、雨や風での災害の恐れがある部分を再点検し、地域住民の暮らしを守る安全と安心のまちづくりを促進してほ

都市計画前の宅地開発 危険箇所の改善対策は

町長／実態把握し、対応策を検討する

しい。危険箇所の再点検と改善対策は。

A①

町長 平成6年5月の都市計画区域指定以前の5万㎡以上の開発行為は、県が担当し検査していた。

3千㎡から5万㎡未満の開発は、町の開発指導要綱による、強制力のない行政指導であったため、開発によって分譲された土地に付属した施設や公園、その他の施設の危険や弊害、不具合が見受けられるようになってきている。

また、施設の老朽化や管理者の都合などで適正に管理されていないものも散見される。

それらの実態を把握し、予想されるさまざまな災害等に対して、安全安心を

担保しておくことは必要なことである。

危険箇所改善などの対策は、行政で対応できるかどうかを仕分けするためにも、実態把握が必要

であり、町で確認している情報と、今後、全町の調査したものをつなぎ合わせ、安全安心なまちづくりに向けて検討を重ねていく。



調整池は安全のためフェンスで囲まれている

Q②

都市計画区域指定以前に施行されたものの中に秩序を持たないで開発されたものが見受けられる。

蒼前地区だけでなく、町全体で危険が予想されるところを、各行政区の区長を通じて、実態を把握し、検証してほしい。

A②

町長 今年度末で各行政区長が改選期にあたるので、4月に区長会議が開催される。

その中で、地区計画も含めて各地区のいろいろな問題点等も洗い出しをする。

今、一例として土留の話もあったが、個人の資産という部分のいろいろな障害もある。

危険箇所を全般的に洗い出して、行政区長と一緒に、解決に向けて取り組みたい。



山田 恵治 議員

観光による地域活性化への住民参加の取り組みは

町長／おもてなしサポーター連絡会立ち上げる

Q① 昨年5月に三陸復興国立公園に指定され、種差海岸や階上海岸、階上岳では、環境省や三八地域県民局などによる記念イベントが数多く開催された。

11月には、みちのく潮風トレイル（森林や里山海岸、集落などを通る「歩くための道」の一部、八戸蕨島から久慈の小袖海岸まで約100kmが開通。町でも、国立公園記念ウォークイベントなどが開催され、町内外から多くの人々が参加した。

今年に入り環境省は、種差海岸や階上地域の管理計画や基本方針、将来像や主要課題などをテーマに、国立公園カフェ・イン階上と題して、ワークショップを開催している。

①国立公園指定による

観光のまちづくりに、町民や利用者の声を反映させる検討委員会や連絡会議等の設置は、どのように進んでいるのか。

②国立公園指定やトレイルコースのPR、町民への周知は。

③地域の特産や、資源を生かした、町の活性化、地域住民の参加を促進する取り組みは。

A①

町長 ①現在、環境省が中心となって町民に呼びかけ、40人ほどの参加者が集い、ワーキング方式で3回ほど管理計画の意見交換を行っている。

八戸市と階上町で、現状と課題を洗い出し、公園保全と利用方針、整備計画などを定めるため、三陸復興国立公園「種差海岸・階上岳地域管理計

画」をつくる。

観光客への案内や、情報発信の中心施設で、現在建設中の種差インフォメーションセンターの「運営協議会」の設立準備が進められている。

「みちのく潮風トレイル地域運営協議会」設立準備会を設置し、地域住民と利用者との交流や、新たに認定されたジオパーク（大地の公園）も含めたボランティアガイドの育成、コース踏破認定方法などの話し合いも同時進行で行われている。

これらの組織は、環境省といっしょになって取り組んでいるもの。

今後、町独自では、町内ボランティア関係団体や、登山者団体、商店の方などを中心に、ボランティアガイド・サポ

ーター登録も含めた「おもてなしサポーター連絡会」のようなボランティア組織を立ち上げたい。

土日や祝日に、観光客が安心して町内を見て回る仕組みづくりが大事で、受け入れ窓口も、公的な観光施設管理者とも協議しながら進めたい。

②環境省のメディア発信、「広報はしかみ」、町のホームページで、各種イベントを中心にPRしてきた。

現在、ホームページの見直し、管理計画策定やまち歩きコースの設定、はしかみ体験プログラム策定などに取り組んでいる。

町民や関係団体からの提案や意見を聞き、ソフト・ハード事業の両面から長期的な視点に立ち、周知を図っていききたい。

③町のPR拠点の道の駅、フォレストピア階上、わっせ交流センターを中心に、新たな特産品の開発・販売に連携して取り組み、町内巡回バスの運行により、町民、観光客の利便性と施設の活性化を図っていく。

町民参加は、みちのく潮風トレイルコースの環境美化を中心に、町民のおもてなしの意識啓発を図り、三陸復興国立公園「階上海岸・階上岳」を町民一丸となって磨きあげていきたい。

Q②

階上町は、海の幸や、山の幸、国立公園指定やトレイルコースを資源に、観光客を増やす好機であり、そのためには、地域住民に周知し、PRするべきでは。

A②

町長 町への交流人口、観光客の増加を促進するためにも、各種イベントを積極的に開催し、町内の団体グループ、専門に活躍している方の知恵と協力を得ながら、組織を立ち上げて進める。



残雪の中 春登山を楽しむ 階上岳大開



森 榮吉 議員

小舟渡集会所移転とコミュニティバス運行は

町長／施設の状況、地元の意向を聞き検討する

Q① 小舟渡集会所は、町が配布した津波ハザードマップの

浸水区域によると、10m前後の浸水区域となっている。

25年9月の定例会では、「小舟渡集会所の高台移転」という問いに「小舟渡集会所は、津波の被害もなく、交付金の対象外であることから、別の角度から検討する。」との回答だった。

しかし、人の命・安全・安心が大切であり、それが守られることが、最優先されるべきだと考える。

あの大震災から満3年が経過した。小舟渡集会所の移転は、いつ頃までに、どのような方向に進むのか。

A①

町長 各集会所は建築から、相当の年数が経過し、老朽度合いが高い施設から、周辺公共施設などを考慮しながら、その必要性も含めて検討し、28年度は、田代集会所を

昭和56年に建築された小舟渡集会所は、青森県が24年10月に公表した「津波浸水想定区域内」であることを踏まえ、施設状況と、地元の意向も聞きながら、検討したい。



小舟渡集会所

Q②

コミュニティバスの東部循環線の利用者は、通院をはじめとし、役場への用事や買い物等たいへん重宝している。

特に車の運転をしない方には、無くてはならない交通手段の一つとなっている。

その中で、利用者から、通院や買い物等、役場周辺での滞在時間が、もう少し、長くならないかという声がある。

蒼前地区など他の地区でも同様の声が上がっている

と聞いている。現在、運行していない日曜・祝日の運行も含め、コースの変更、増便も考慮した、利用者の利便性向上に向けた取り組みは、

A②

町長 コミュニティバスは、21年度から本格運行を行い、JRや南部バスとの接続や、住民・学校等の意見などを取り入れながら、現在の運行ダイヤとなっている。

しかし、小学校の統廃合や新たな施設の整備、階上岳と階上海岸が三陸復興国立公園に指定されるなど、本格運行が開始された当時と比べ、町を取り巻く環境も大きく変化している。

町長 コミュニティバスは、21年度から本格運行を行い、JRや南部バスとの接続や、住民・学校等の意見などを取り入れながら、現在の運行ダイヤとなっている。

しかし、小学校の統廃合や新たな施設の整備、階上岳と階上海岸が三陸復興国立公園に指定されるなど、本格運行が開始された当時と比べ、町を取り巻く環境も大きく変化している。

町長 コミュニティバスは、21年度から本格運行を行い、JRや南部バスとの接続や、住民・学校等の意見などを取り入れながら、現在の運行ダイヤとなっている。



ハートフルプラザから乗車する乗客

質疑のぞいて

3月定例会の議案の中から、質疑を要約してお知らせします。

25年度一般会計補正予算

石川清人議員

◆ふるさと納税

問 ①25年度のふるさと納税額はいくらか。その内ふるさと階上会からは②ふるさと納税は、限度額があるか。
答 ③町で、納税された方に何を差し上げているのか。

◆総合政策課長

①ふるさと納税は、6件で、166万円。ふるさと階上会からは2件。

答 町長 ②ふるさと納税の限度額はない。

③2万円以上の納税者に、3千円相当の町の特産品(乾麺、いちご煮など)を送っている。



郷州公典議員

◆被災者定住促進事業住宅再建補助金

問 被災者が2世帯、町内の中古住宅を購入した町内には、空き家、アパートが多数あるので、促進してほしい。

答 総務課長 被災者から、申し出があった場合、前向きに対応したい。

松尾國治議員

◆大雪による道路への倒木除雪の妨げとなった。地権者との話し合いを、いつ頃行っているか。事故があれば地権者の責任になるので、町から働きかけてほしい。

答 建設課長 道路に面した全地権者と個々に連絡をとるのは不可能であり、今後とも、行政区域をはじめ議員からの情報を得ながら、対処していきたい。



大雪による倒木

26年度一般会計予算

加藤 祐議員

◆耐震・改修等の大型予算
問 今年度は約6億円増の大型予算。道仏体育館の解体、コミュニケーションの設計、第4分団の屯所移転、旧金山沢小学校改修、駅前トイレの新設、元気臨時交付金による活用の整備等、設計にあたり、前もって地域住民の声を十分聞いて進めしてほしい。

答 町長 耐震、改修等予算案、事業は、各地域でいろいろ協議し、意見をいただきこまめに来たもの。

◆青年就農給付金
問 青年就農給付金は、24年度から始まっているが、25年度は何人増えたか。

答 農業者関係だけでなく、水産関係もできないか。

産業振興課長

24年度からの就農者は4人で、25年度の新規はいない。26年度は5人分を計上。

年間150万円、就農者に国から出るが、250万円の所得をめざして、農業に取り組み事業。要件もいろいろあり、アドバイザーもお願いし、広報、ホームページ等PRに努めている。

水産業も併せて、農林水産業の後継者不足に取り組んでいく。

山田恵治議員

◆旧金山沢小学校の改修 予算内容と管理は。

答 総合政策課長 1階は集会所・休憩室・体育館・物置、2階は民俗資料収蔵庫として使用する。予算は、建物8600万円、外構工事2100万円、物置1100万円等で合計1億3700万円。

答 教育課長 指定管理者制度を視野に入れて考える。

収蔵庫への搬入は、貴重な資源、材料を慎重に取り扱いながら進める。

鹿原章男議員

◆光ケーブルの管理 管理料の内容、加入率とその向上対策、事業者負担金の取り扱いは。

答 総務課長 管理料は、NTT東日本のケーブルの点検、パトロールなどの費用。

加入率は現在24・7%で広報等でPRする。NTTでも加入促進を行っている。



ジェラート

今年度のアンケート調査を基に、この方面に精通した業者に委託し、来年度計画の策定に取り組み。

問 改修目的と内容は。
答 副町長 フォレストピア階上は地域活性化、

農場産業の振興、観光客登山客の誘客のために改修する。1番の目玉はジェラート(イタリア風のアイスクリーム)のアイスクリーム) 建物増築、厨房の改修、ジェラートを作る設備。町に新たな特産ができるように改修する。

町内 4 会場で実施59人が参加 質問、意見・要望等 63件

石鉢ふれあい交流館会場



初めての議会報告会を2月24日と25日の2日間、町内4会場で開催し、延べ59人の参加をいただきました。
議会では活動状況を、町民の皆様へ報告・説明し情報提供に努めるとともに、広く意見を聴いて町政や議会活動に反映させ、町民参加のまちづくりをめざしていきます。

13人の議員が2班に分かれ、2会場ずつを担当し、次の3項目について報告・説明を行いました。

報告した内容

- 議会活性化の取り組み状況
- ①議会報告会
- ②議会だより
- ③その他の取り組み
- 町の平成24年度決算状況
- 町政の重要課題

各項目について報告後、活発な意見交換が行われ、あわせて63件の町政や議会運営に対する質問、意見・要望等をいただきました。



ハートフルプラザ・はしかみ会場



報告会で質問等があった主な項目

- 議員活動・議会だより
- 収納率の向上対策
- 少子化対策・定住促進・企業誘致
- 道仏コミュニティセンター(仮称)
- 福祉のまちづくりと繰出金
- 畜産・環境・ごみ減量化
- 幼児の遊び場の確保
- 国立公園PR事業
- 小学校の統合

報告後の対応

- 議会に対する貴重な提言等は、今後十分に検討していきます。
- 町政に関する意見・要望等は内容を整理し、町長に文書で提出します。
- 会場で回答を保留したもので、回答が可能なものは、後日、行政区域を通じてお答えします。

初の議会報告会開催



森の交流館会場

議会報告会に関する意見・要望

- 初めて議会の報告を受け、いろいろ疑問に思っていることを、この場で質問できた。今後も継続的に、機会をつくってほしい。
- もっと長く話せるよう時間をとってほしい。
- 開催時期は、暖かい時期の方がいい。

1	期 日	2月24日(月)		2月25日(火)	
2	会 場	石鉢ふれあい交流館	ハートフルプラザ・はしかみ	森の交流館	道仏公民館
3	班	1 班	2 班	1 班	2 班
4	参 加 者	15 人	10 人	14 人	20 人
5	出席議員	5 人	6 人	6 人	6 人
6	質 問	回答済	0	3	4
		町 へ	8	0	3
7	意見・要望等	議会へ	5	2	0
		町 へ	9	5	2
8	合計件数	22	10	9	22

道仏公民館会場



議会だより編集委員会

◆今月号の編集委員

- ・ 郷州 公典 議員(総務財政)
- ・ 石川 清人 議員(教育民生)
- ・ 百目木和俊 議員(産業建設)

◆アドバイザー

- ・ 前回の3委員

◆編集委員会の開催

- ・ 第1回 4月11日
- ・ 第2回 4月21日
- ・ 第3回 4月24日
- ・ 第4回 4月30日



議会活動

2月

- 21日 県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 23日 正部家奨氏地域文化功労者表彰受賞祝賀会
- 24日 議会報告会【1日目】
- 25日 議会報告会【2日目】
- 26日 臥牛山まつり実行委員会



- 5日 議員全員協議会
- 12日 議員全員協議会
- 17日 議会運営委員会
- 17日 第2回臨時会本会議
- 17日 議員全員協議会
- 19日 県議長会定期総会

3月



- 1日 行政区長会活動報告並びに解散会
- 2日 南部芸能発表会
- 4日 議会運営委員会
- 6日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員協議会
- 7日 第3回定例会本会議
- 7日 議員全員協議会
- 8日 卒業式（道中・階中）
- 12日 第3回定例会本会議
- 13日 第3回定例会本会議
- 14日 第3回定例会本会議
- 15日 卒業式（赤小・大小）
- 18日 農業振興審議会
- 19日 町防犯協会理事會
- 20日 卒業式（階小・石小・道小・舟小）
- 25日 八戸地域広域市町村圏事務組合議会定例会
- 27日 学校長教頭送別会
- 29日 正部家佑介氏林野庁長官賞受賞祝賀会
- 30日 昭和歌謡素人紅白歌合戦

4月

- 1日 辞令交付式
- 3日 町連合婦人会総会
- 7日 小・中学校入学式
- 9日 春の全国交通安全街頭広報活動
- 9日 町防犯協会総会
- 11日 議員全員協議会
- 11日 議会だより編集委員会
- 11日 町体育協会総会
- 18日 階上岳安全祈願祭
- 18日 町観光協会総会
- 19日 町連合PTA定期総会
- 20日 NPO法人双松福祉会介護施設開設十周年記念式典・祝賀会
- 22日 町老人クラブ連合会総会
- 25日 町教育振興大会
- 28日 いちご煮祭り実行委員会



議長交際費執行状況

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
1	会費	2月23日	正部家奨氏地域文化功労者表彰受賞祝賀会	6,000円
2	会費	3月1日	行政区長会活動報告・解散会	5,000円
3	会費	3月27日	学校長教頭送別会	7,000円
4	祝金	4月3日	町連合婦人会総会	3,000円

番号	支払区分	支払月日	支払内容	支出金額
5	祝金	4月11日	町体育協会総会	3,000円
6	祝金	4月19日	町連合PTA定期総会	3,000円
7	祝金	4月20日	双松福祉会介護施設開設10周年記念式典・祝賀会	3,000円
8	祝金	4月22日	町老人クラブ連合会総会	3,000円

編集後記

議会だよりは、議員・議会の活動を町民に理解していただく大きな働きがあります。各議員の考えも多岐に渡りまとめるのに苦労しましたが勉強にもなります。これからも町民に理解いただける活動をし、議会広報にしていければと思います。（郷州、石川、百目木）

議会傍聴者数

- ・第2回臨時会（平成26年2月）
2月17日（0人）
- ・第3回定例会（平成26年3月）
3月7日（3人）
3月12日（8人）
3月13日（4人）
3月14日（4人）

議会を傍聴しませんか

次回の定例会は6月10日(火)開会予定です



議会の傍聴は、受付簿に、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。

発行／青森県階上町議会 〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87 年4回発行 平成26年5月10日発行
編集／議会だより編集委員会 ☎ 0178-88-2369(直通) FAX 0178-88-2117 URL <http://www.town.hashikami.lg.jp>

はしかみ議会だよりは、4,650部作成し、印刷経費は1部当たり57.9円です。